大正6年
自10月13日
至　月　日

大阪朝日新聞

京都市に隣接町村編入公報

京都府參事會の議決を經たる京都市に隣接せる十六箇町村を同市に編入の件は內務省より許可ありたるより本內知事は公報號外を以て左の告示を爲せり

京都府告示第四百七十五號

京都市及其區の境界變更並其隣接町村の廢止及境界變更に關し左の通り定め大正七年四月一日より之を施行す

大正六年十月九日

京都府知事　本內惠四郎

第一、左の町村の全部若は一部を京都市及其區に編入す

一、愛宕郡白川村を廢し其全部

二、同郡田中村を廢し其全部

三、同郡下鴨村を廢し其全部

四、同郡鞍馬口村を廢し其全部

五、同郡上賀茂村の內鞍馬街道、下鴨村界を北へ郡道橫斷道路西へ鴨川西堤塘に至り北折御園橋大宮村界に至る西南部の區域、細目左の如し

大字上賀茂の內　字神在、字島後、字橫田、字河原八町、字竹の本、字鹽竈、字五反ヶ垣內、字梶田、字辻ヶ鼻、字霍田の各全部

字岩ヶ垣內の內　一番の二、字下櫻の內　五番の一、字櫻井の內　六番の二、字今井河原の內　一〇番の二、右の外編入區域內の土地大字小山の全部

六、同郡大宮村の內、御園橋、上賀茂村界より西へ字舊土居北境を鷹峰村界に至る以南の區域、細目左の如し

大字東紫竹大門の內　字宮の後、字下御所田、字中御所田、字上御所田、字下柳、字島田、字小柳、字佛の瓦、字梅の木、字日才、字堂ヶ芝、字上芝本、字下芝本、字桃ヶ本、字八重、字高畑手、字辻ヶ內、字石名田、字龍ヶ坪、字橫路、字雲林院、字門前、字紫竹南東、字紫竹東北、字大門、字紫竹西北、字紫竹西南、字中筋、字堂谷、字三栗栖野南、字三栗栖野北、字倉ヶ坂、字西浦山、字舟後山、字中島、字泉堂、字上野、字今宮、字蓮臺野、字龍山、字上西野、字山東、字藥山、字藤の森、字南山腰、字中溝、船岡南畑、字船岡字西山腰、字鄕の上、字上柏野、字中柏野、字下柏野、字寺土居の各全部

大字西賀茂の內　字舊土居、字長目、字竹殿の各全部

字上の岸の內　四三番の一、四四番の一、四五番の一、四六番、四七番の一、四七番の二、四七番の三、四七番の四、四九、五〇番合地、五〇番の一、五一番、五二番、五三番、五四番、五五番、五五番の一、五六番、字岸之上、字鹿餓鬼田、字御所之內、字高原、字上高松の各全部

字西川原の內　一番の二、一番の三、字下高松の內四番の二、六番の一、七番、七番の一、八番、九番の一、九番の二、九番の三、九番の四、九番の五、一〇番、一一番の五、一一番の六、一二番、一二番の一、一三番、一三番の一、一四番、一五番の二、一六番の四、一八番の三、一九番の二、二〇番の四、二〇番の七、二一番の二、二二番の三、二三番の四、二四番、二六番、二八番の四、二九番の一、二九番の二、三二番の二、三三番の一、三三番の二、三四番の一、三五番の三、三五番の四、三五番の七、三六番、三七、四三番合地、三八番、三九番の四、四〇番の一、四一番、四二番、四二番の一、四四番の二、四四番の五、四五番、四六番、四七番の二、四七番の四、四八番の二、四九番、五〇番の二、五〇番の一、五一番の一合地、五一番、五二番、五三番、五四番、五五番、五六番、五七番、五七番の一、五八番、五八番の一、五九番、五九番の一、六〇番、六一番、六二番、六三番の一、六三番の二、六四番、六五番、六六番の二、六八番、六九番、七〇番、七一番の一、七一番の二、七二番、字相深の內　一番の二、二番、二番の三、字中川原の內　五七番、五八番、五九番、六〇番右の外編入區域內の土地

七、同郡野口村を廢し其全部

八、葛野郡衣笠村を廢し其全部

以上上京區に編入

九、葛野郡朱雀野村を廢し其全部

十、同郡西院村の內左の區域

大字西院の內　字大藪、字淵田、字土居の內、字樋際、字東高田の各全部

十一、同郡大內村を廢し其全部

十二、同郡七條村を廢し其全部

十三、紀伊郡上鳥羽村の內東、十條通、市郡界より該道を西へ大阪街道に至る以北の區域、細目左の如し

大字上鳥羽の內　字南田、字大君、字豆田の各全部

字唐戸の內　一番、二番の一、二番の二、二番の三、二番の四、二番の五、二番の六、二番の七、二番の八、二番の九、二番の一〇、三番の一、三番の二、三番の四、三番の五、三番の六、三番の七、三番の八、三番の九、三番の一〇、五番、六番、六番の一、七番、八番、九番、九番の一、一〇番の一字高畠の內　一